



屋外用小勢力回路用耐熱電線 (EM-HFA[®]-LAP)

Outdoor Type Heat Proof Instrumentation Cable “EM-HFA-LAP”

1. 概要

従来、消防用ケーブルについて、水の影響がある場所への敷設に対しては、全てコルゲートシースケーブルを推奨してきました。

しかし、コルゲートシースケーブルは、価格、納期、また取扱い性の面でお客様に負担を強いることから、防滴レベルの要求に対応する製品として、より安価で短納期対応が可能、かつ取扱い性に優れた屋外用ケーブル（LAPシースケーブル）の開発を行いました。

2. 用途

防災設備配線で、耐熱性能を必要とする小勢力回路において、屋外や管路といった水等の影響が懸念される場所に適した屋外用の小勢力回路用耐熱電線（60V以下）です。

3. 特長

- 通常耐熱電線にアルミラミネートテープを施したことで防滴性能を付加したケーブルです。
- 通常ケーブルシースの上からLAPシースを施した構造となっているため、LAPシースを除去しても通常のケーブルとして使用できます。
- 防滴性能に優れるため、水の影響が懸念される場所への配線に使用できます。
- 耐熱性能は、登録認定機関（JCT）で行う、認定試験に合格した認定品です。
- シース材料には、ポリオレフィン系材料を使用しており、燃焼しても有害なハロゲン系ガスを発生しません。

表1 耐水特性面から見たシース構造選定の目安^{*)}

雨水等の影響		シース構造
屋内	影響無し	ビニル (PVC)
		耐燃性ポリエチレン (FR-PE)
屋外	影響が少ない	ポリエチレン (PE)
	影響が考えられる	ラミネートシース (LAP)
	直埋・常時浸水	コルゲートシース (MA)

着色部：当該ケーブルを示します。

*)：日本電線工業会 技術資料 技資第117号A



図1 屋外用小勢力回路用耐熱電線 (EM-HFA[®]-LAP)

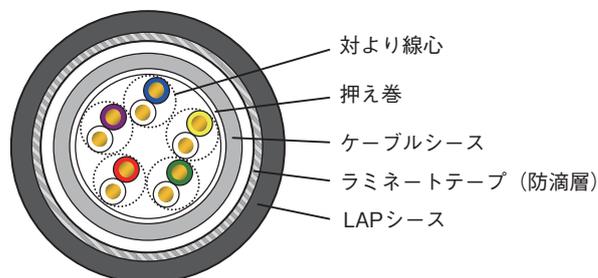


図2 ケーブル断面図 (例：5Pケーブル)

HFAは富士電線株式会社の登録商標です。

表2 ケーブル仕様

サイズ：1.2mmの場合

項目	EM-HFA [®] -LAP		
	1.2mm×3P	1.2mm×5P	1.2mm×10P
シース (外被)	黒色耐燃PE		
仕上外径 (約)	14.5mm	16.5mm	18.5mm
概算質量	180kg/km	245kg/km	380kg/km

問合せ先：〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目18番13号
(内神田中央ビル2階)

富士電線(株) 営業本部 営業企画部

電話(03)5217-0911 FAX(03)5217-0920